都市環境デザイン会議　研究発表会

発表原稿執筆要領

都市環境デザイン会議　研究発表委員会

※メイン写真を背景としてください。

※タイトル、氏名発表者(主著者)を上方に記してください。

１．基本的事項

(１)原稿体裁と分量

・用紙サイズは**Ａ４サイズ**とする。

・マージンは上辺19mm、下辺24mm、左右とも20mmとする。

・使用言語は日本語もしくは英語とする。

・ワープロ・タイプの原稿を原則とし、本文・表における文字の手書きは認めない（スケッチやスケッチ等の一部に手書き文字が含まれる図をスキャナ入力にて使用することは構わない）。

・カラーの図表や写真を用いることができる。ただしモノクロ印刷による出力を考慮して画質や配色を決めることが望ましい。

・原稿は図表を含め**２頁以上4頁以内**とする。

２．原稿構成と書き方

(１)タイトルページ

メイン写真を背景とし、タイトル、発表者(主著者)を上方に収める。

写真は横幅170mm（１段）、縦100mm程度とする。フォント・レイアウトは自由とする。

(２)本文

ａ)配置・フォント

冒頭の写真下端から約10mmのスペースをとり２段組の本文を書き出す。本文の文字は明朝体10ptフォント（※英文原稿：Times11pt）を用いる。

ｂ)脚注および注

脚注や注はできるだけ避け、本文中で説明するか、本文の流れと関係ない場合には付録として本文末尾におく。

ｃ)見出し

見出しは章、節、項の３段階とし、フォーマットは章[１．２．３．･･･]、節[(１)、(２)、(３)･･･]、項[ａ)、ｂ)、ｃ)]とする。

各章の間にはスペースを1行あけるものとする（その他は適宜自由）。

フォントは章(11pt)、節(10pt)、項(10pt)ともにゴシック体とする。

ｄ)句読点

句読点「、」「。」を使用する。

(３)数式および単位系

数式は本文と独立している場合でも文中に挿入されている場合でも同じ数式用のフォントを用いる。本文と独立した数式はセンタリングし、式番号は括弧書きで右詰とする。

単位は原則としてSI単位を使用する。

(数式例)　 (1)

(４)図表、写真

ａ)写真について

　画像形式データもしくはスキャナ入力したものを原稿中にレイアウトし貼り付ける。印刷したときに鮮明なものとなるか解像度に注意を要する（200dpi以上）。

ｂ)キャプション

図および写真の場合は、「図-1　Aに関する図」のように記載し、図-○の部分はゴシック体9pt、それ以外は明朝体9ptとする。配置は図もしくは写真の下でかつ中央寄せとする。表についても同様に「表-1　Bに関する表」のように記載し、配置は表の上でかつ中央寄せとする。

ｃ)引用および加筆

図、表、写真を他の著作物から引用する場合は出典を明記し、事前に原著者の了承を得ることが必要である。また引用図表に修正・加筆をした場合はその旨記載する。

表-1　表のキャプションは中央寄せ、表上に配置

図-1　図のキャプションは中央寄せ、図下に配置

(５)謝辞、参考文献・出典

ａ)謝辞

本文の最後に記す。

ｂ)参考文献・出典

参考文献は出現順に番号を振り、原稿末尾に結論から1行あけてリストとして示す。引用箇所ではその番号をこのように1)右肩に右括弧付き数字で示す。

(６)アブストラクト・連名者・所属

アブストラクトの文量は300字までとする。連名者がいる場合は氏名を明記する。著者及び連名者の所属機関名、JUDI会員区分を明記する。レイアウトは自由とする。

以上